

減と減少
秋から冬に
温で出荷量
トマトやナ
ツなどで前
どなったこ
た。

肉用牛、生
の合計額が
（億円）5・
3兆404
り、過去最
特に生産頭
向にある肉
口ナ禍で低
が前年より
も上昇した
、同847

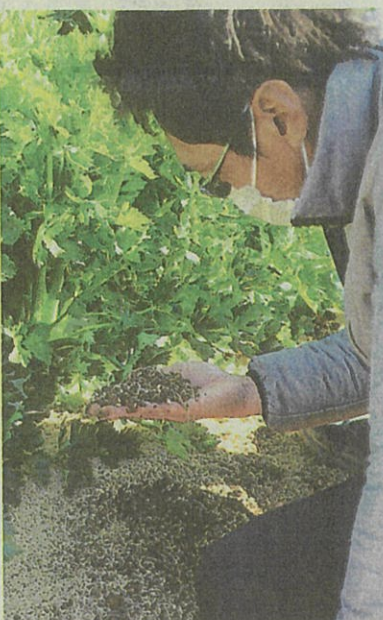
保障強化政
決定した。
「食料安全
は、緊急の
な世界の重
つ」だと強
・飼料や麦
の国内供給
で農業構造
強く進め、
直結する食
盤を確かな
いく」と述

8232億円とな
た。生乳も増産が進み
同0.8%増の786
1億円だった。

の9159億円、花き
は同7.3%増の33
06億円、茶は同21%
増の495億円。

る生産農業所得は同45
億円（0.1%）増の
3兆3479億円だっ
た。

下水汚泥肥料お試し 好感触



下水汚泥由来の肥料で育てる高梨さん（静岡県三島市で）

静岡県のJAふじ伊豆
三島函南地区本部は、三
島市と連携し、下水汚泥
由来肥料の利用試験を始
めた。廃棄物をリサイク
ルして、持続可能な農業
を目指す。肥料原料価格
高騰対策として低コスト
化を進め、農家の経営支
援にもつなげる。

高騰 打破

試験に使うのは、肥料
製造などを手がけるアサ
ギリ（富士宮市）が廃棄
物から製造した肥料「ア
サギリMIX」。葉物、
根類野菜から果樹、稲ま
で幅広く使える。有用微
生物や微量ミネラルが豊
富に含まれるという。
試験商品は、三島市の
下水道に含まれる動植物
性残さや汚泥を分析し、
適合する成分を受け入れ

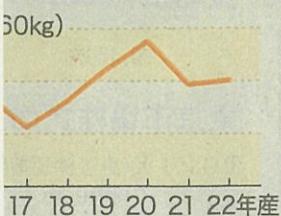
静岡・JAふじ伊豆、自治体や企業と連携

製造した。牛ふんや食物
残さなどと混合して水分
を調整し、計2回の発酵
を経て選別、完成した。
野菜を生産する高梨祥
史さん（46）は10月から
セロリを栽培する圃場
（ほじょう）で利用を始め
た。全長35㍍の畝に約20
㎡散布。病害虫の発生や
生育不良は確認されず、
問題なく栽培できている
という。高梨さんは「土壌
改良には常に満足せず力
を入れている。使用方法
の研究を重ね一層の効果
に期待したい」と話す。
同市下水道課も「汚泥
肥料へのイメージアップ
にも尽力したい」と力を
込める。
同市では下水汚泥処理
に年間約8000万円の
費用が発生している。廃
棄物として処理費用がか
かるものを価値のある資
源にし、農業と連携した
循環型社会の実現を目指
す。（静岡・ふじ伊豆）

豆 1.6%高 見込まれるも

・6%上回
率は90.5%だった。
上場した8銘柄のうち、
秋田「リュウホ
」の値

取引価格の推移



（日本特産農産物協会の資料
を基に作成）
※収穫後入札の普通大豆の
価格。22年産は初回だけ

増加する方向だ。4月
の22年産播種（はし
ゆ）前入札では、60キ
ロ平均落札価格が同入札
では過去最高となる1
万57円を付けていた。
堅調な価格の背景に
は、消費者の健康志向
による旺盛な需要があ
る。輸入品は引き続き

牡蠣殻を波に洗へりひとの手を
ごす仕事の世にいくつある

鈴木加成太『うすがみの銀河』

カキがおいしい季節になった。生
ガキにしモンを絞って口に入れる。
濃厚な潮の味が口の中にジュワー
ッ、とひろがる。たまらない。
港湾にカキの殻が捨てられてい
る。その殻が波に白く洗われてい
る。それを見て作者は、カキの殻を
剥き、指を汚してその身を取り出し
た人の手を思う。
「働く」ということは自分の手を
汚すことだ。そんな感慨が若い作者
の胸に去来する。
（大江隆弘）

四季

2022.12.28

中国を初めて統一した秦
の始皇帝を支えた人物の一
人に、趙高がいる▼3代に
わたって皇帝に仕え、実質
的な権力を手中にし、頂点
の地位を狙うまでに、鶴間和幸著『人
間・始皇帝』に、こんな場面がある。
始皇帝の跡を継いだ2世皇帝に、鹿を
「馬だ」と言って献上。趙高を恐れて
口を合わせる群臣の中で、正直に鹿と
言った者は後で罰せられた。〈正直者
が馬鹿を見る〉では正義は通らない
が、力の大きさを物語る▼トップに立
つ人物より、それを支える者が実権を
握ることはよくある。好評だったNH
K大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも、
將軍はお飾りとなり、実権は執権の北
条氏が握った。非情な手段を駆使して
競争相手の有力御家人を排除。執権政
治は100年以上も続いた▼上野の森
美術館で開かれている「兵馬俑と古代
中国」展に足を運び、2000年以上
も前の俑に見入った。兵士や兵馬をか
たどった様子はリアルである。始皇帝の
ために等身大に作ったのは、地上で目
指した「中華帝国」を、「地下帝国」
で補完しようとする趙高の意志だった
との見方もある▼さて、防衛費増額に
まい進する岸田政権。軍事費を肩代わ
りさせたい海の向こうの言いなりにな
っていないか。長考する必要がある。

ページの
運営管理は
ther
aff
スタッフ 検索
い合わせ
5812
ff@agrinews.co.jp